

Netfinity 5600

SA88-6894-00
(英文原典 : 37L6996)

クイック・セットアップおよびインストール



Netfinity 5600

SA88-6894-00
(英文原典 : 37L6996)

クイック・セットアップおよびインストール

お願い

本 Netfinity サーバー・ライブラリー およびそれによってサポートされる製品をご使用になる前に、本サーバー・ライブラリーの“特記事項および安全情報”の情報をお読みください。

第 1 版 (1999 年 9 月)

本マニュアルについてご意見やご感想がありましたら

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.infocr.co.jp/ifc/books/>

をご覧ください。(URL は、変更になる場合があります)

原 典： 37L6996
Netfinity 5600
Express Setup and Installation
発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社
担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.9

©Copyright International Business Machines Corporation 1999. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1999

第1章 クイック・セットアップおよびインストール

このセットアップおよびインストールの項には、次の作業を進めるために必要な情報が記載されています。

- ご使用のサーバーのセットアップと配線
- サーバーの始動と構成
- ネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) のインストール

目次

概要	1
安全に正しくお使いいただくために	2
絵表示について	2
ハードウェアのインストール	5
ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブの取り付け	6
追加マイクロプロセッサの取り付け	6
サーバーの配線	9
サーバーの正しい動作の確認	11
追加オプションの取り付け	13
ソフトウェアのインストール	14
ハードウェアの構成と NOS のインストール	14
追加プログラムのインストール	15

概要

このサーバー・ライブラリーの「特記事項および安全情報」をお読みになった後、“クイック・セットアップおよびインストール”に従って実施するステップは次の通りです。

ハードウェアのインストール

- 1 ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブの取り付け
- 2 追加マイクロプロセッサの取り付け (オプション)
- 3 サーバーの配線
- 4 サーバーの正しい動作の確認
- 5 追加オプションの取り付け

ソフトウェアのインストール



- 1 ハードウェアを構成し、NOS とデバイス・ドライバーをインストールします。
- 2 追加プログラムをインストールします。

安全に正しくお使いいただくために

この製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

あなたとあなたの周りの人々の危害および財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示では、以下の絵を表示しています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

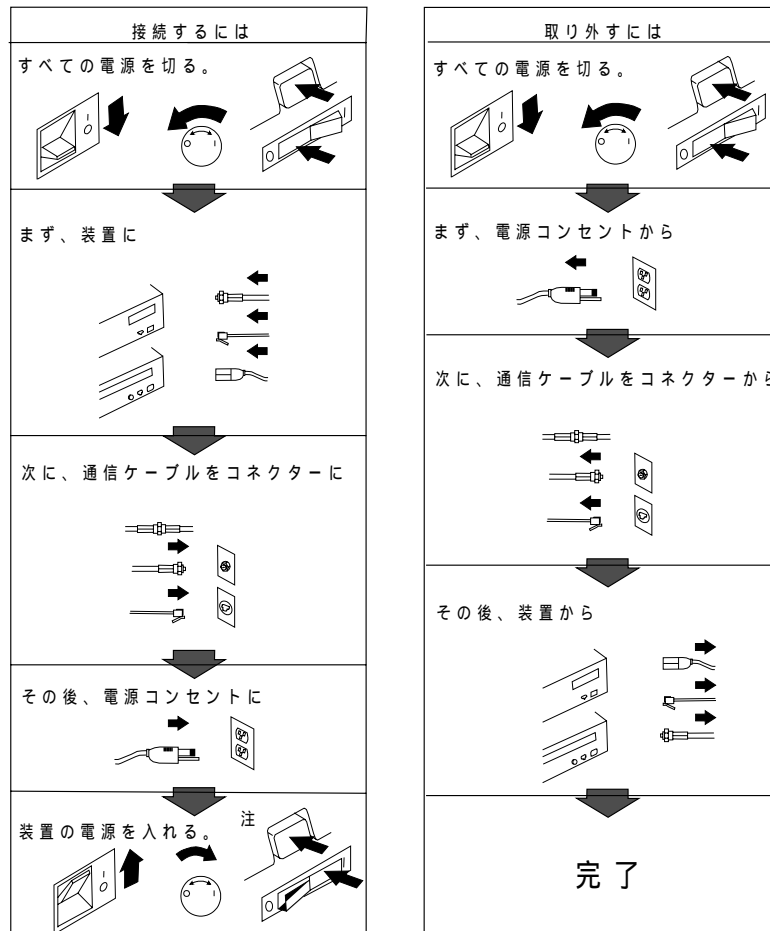
危険

- この製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- この製品の構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- 電源プラグをコンセントに接続する前に、コンセントが正しく接地されており、正しい電圧であることを確認してください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入ったときは、すぐに製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

⚠ 危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序。

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。装置を設置、移動、または接続するときには、以下のようにケーブルの接続および取り外しを行ってください。また、電話回線、通信回線またはテレビのアンテナ線が接続されている製品は、雷の発生時には回線の接続または取り外しをしないでください。



危険

感電を防止するため、雷の発生時には、いかなるケーブルの取り付けまたは取り外しも行わないでください。また導入、保守、再構成などの作業も行わないでください。

感電を防止するため:

- 電源コードは正しく接地および配線が行われている電源に接続してください。
- 本製品が接続されるすべての装置もまた正しく配線された電源に接続されている必要があります。

できれば、信号ケーブルに取り付けまたは取り外しのときは片方の手のみで行うようにしてください。これにより、電位差がある二つの表面に触ることによる感電を防ぐことができます。

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、以下のようにケーブルの接続、取り外しを行ってください。

接続するには

1. すべての電源を切る
2. まず、装置にすべてのケーブルを接続する
3. 次に、通信ケーブルをコネクタに接続する
4. その後、電源コンセントに電源コードを接続する
5. 装置の電源を入れる。

取り外すには

1. すべての電源を切る
2. まず、電源コンセントから電源コードを取り外す
3. 次に、通信ケーブルをコネクタから取り外す
4. その後、装置からすべてのケーブルを取り外す

ハードウェアのインストール

このハードウェアのインストール手順では、サーバーのセットアップとケーブル配線、サーバーの始動、サーバーのハードウェアが正しく機能しているかどうかの確認に必要な情報または参照情報を提供します。

始める前に:

- この **サーバー・ライブラリー** の「特記事項および安全情報」をよくお読みください。
- IBM® Netfinity® 5600 サーバー をまだ開梱していない場合は、開梱し、この **サーバー・ライブラリー** の“はじめにお読みください”の項にある「**チェック・リスト**」を使用してサーバーの付属品がすべて到着していることを確認してください。
- ご使用の IBM® Netfinity® 5600 サーバー がラック・モデルで、ラック取り付け位置にアクセスの容易な場所を計画している場合、オプションのインストールを開始する前にサーバーをラックに取り付けておくことと便利です取り付け手順については、この **サーバー・ライブラリー** の「**ハードウェア情報**」の項の“ラックへの取り付け”を参照してください。

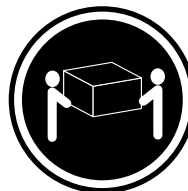
注: 一部のオプションはサーバーがラック内にあると取り付けられないものもあります。

- 適切なシステム冷却を維持するために、すべてのベイにドライブまたはカバーのいずれかを取り付けていない状態では、Netfinity 5600 を 2 分以上動作させないでください
- RAID アダプターを Netfinity 5600 サーバー に取り付ける計画がある場合は、サーバーを構成する前に、ディスク・アレイをどのようにセットアップするかを決める必要があります。構成するディスク・アレイの RAID レベル (0、1、または 5) によって、取り付けなければならないハード・ディスク・ドライブの数が決まります。RAID レベル 0 では 1 つ (最小)、RAID レベル 1 では 2 つ (最小)、さらに RAID レベル 5 では 3 つ (最小) ハード・ディスク・ドライブが必要になります。詳細については、RAID アダプターに付属の資料を参照してください。

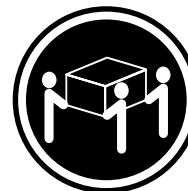
6ページの『**ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブの取り付け**』に進みます

4

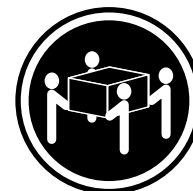
⚠ 注意



≥18 kg



≥32 kg



≥55 kg

装置を持ち上げる場合は、安全に持ち上げる方法に従ってください。

ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブの取り付け

Netfinity 5600 サーバー にホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブを取り付けるには、以下の手順を使用してください。

1 ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブの取り付け

取り付けの説明については、この *サーバー・ライブラリー* の「ハードウェア情報」の項の“内蔵ドライブの取り付け” およびホット・スワップ・ハード・ディスク付属の資料を参照してください。

2 『追加マイクロプロセッサの取り付け』に進みます。

追加マイクロプロセッサの取り付け

始める前に:

- 2 番目のマイクロプロセッサを取り付けると、それが始動 (ブート) マイクロプロセッサとなります。
重要: ネットワーク・オペレーティング・システム(NOS) のインストール後に 2 番目のマイクロプロセッサを取り付けた場合は、NOS を再インストールする **必要**があります。
- 信頼できる作動を確保するためには、両方のマイクロプロセッサの内部クロック周波数、外部クロック周波数、キャッシュ・サイズ、および電圧要件が同一である必要があります。
- 追加マイクロプロセッサ付属の電圧調整器モジュール (VRM)を使用する必要があります。
- サポートされているオペレーティング・システムのリストは、WWW の <http://www.pc.ibm.com/support/> を参照してください。

マイクロプロセッサの取り付け

1 カバーを外します。

- タワー・モデルの場合は、サイド・カバー開放レバーを押してサイド・カバーを外します。
- ラック・モデルの場合は、カバー背面のつまみねじを外し、トップ・カバーを取り外します。

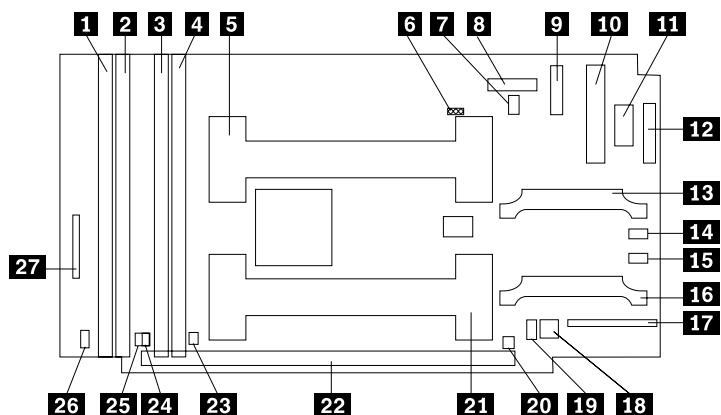
2 マイクロプロセッサ 2 コネクタからターミネーター・カードを取り外します。

マイクロプロセッサ 2 コネクタの位置については、次ページの図の項目 **5** を参照してください。

3 新しいマイクロプロセッサが入っている静電気防止パッケージを、サーバーの塗装処理されていない金属面に触れさせ、次に、マイクロプロセッサをパッケージから取り出します。

4 マイクロプロセッサをシステム・ボード上のコネクタの位置に合わせてからガイド内に挿入し、コネクタ内に確実に固定されるまで押し込みます。

プロセッサ・ボード・コネクタ



- | | | | |
|-----------|----------------------------|-----------|--------------------------------------------|
| 1 | DIMM コネクタ 4 (J1) | 14 | VRM 2 エラー LED (CR19) |
| 2 | DIMM コネクタ 3 (J2) | 15 | VRM 1 エラー LED (CR17) |
| 3 | DIMM コネクタ 2 (J3) | 16 | VRM 1 コネクタ (J5) |
| 4 | DIMM コネクタ 1 (J4) | 17 | ファン 1 および 2 コネクタ (J8) |
| 5 | マイクロプロセッサ 2 コネクタ (U6) | 18 | スイッチ・ブロック 2 (SW2) |
| 6 | 予約済み (J15) | 19 | スイッチ・ブロック 1 (SW1) (搭載されていないサーバーもあります) |
| 7 | マイクロプロセッサ 2 エラー LED (CR13) | 20 | マイクロプロセッサ 1 エラー LED (CR12) |
| 8 | 予約済み (J19) | 21 | マイクロプロセッサ 1 コネクタ (U5) |
| 9 | 電源機構コネクタ (J6) | 22 | システム・ボード・コネクタ (J9 および J25) (プロセッサ・ボードの反対側) |
| 10 | 電源機構コネクタ (J11) | 23 | DIMM 1 エラー LED (CR8) |
| 11 | 電源機構コネクタ (J12) | 24 | DIMM 2 エラー LED (CR9) |
| 12 | 電源機構コネクタ (J14) | 25 | DIMM 3 エラー LED (CR10) |
| 13 | VRM 2 コネクタ (J13) | 26 | DIMM 4 エラー LED (CR11) |
| | | 27 | ファン 3 コネクタ (J10) |

5 電圧調整器モジュール(VRM) の取り付け

VRM コネクターの位置については、7 ページの“プロセッサ・ボード・コネクタ”の項目 **13** を参照してください。

6 マイクロプロセッサ付属の資料を参照し、サーバー BIOS の更新が必要かどうかを調べてください。

このサーバー・ライブラリーの「ServerGuide および Netfinity マネージャー」の項には、BIOS およびデバイス・ドライバーを常に最新のものに維持する IBM Update Connector に関する情報が含まれています。

ご使用のサーバーのための最新レベルの BIOS は、WWW および IBM Personal Computer Company Bulletin Board System (BBS) から入手することができます。該当する WWW のアドレスおよび電子掲示板の電話番号については、このサーバー・ライブラリーの“ヘルプ情報の入手”の項を参照してください。

7 サーバーの BIOS を更新する必要がある場合は、WWW の

<http://www.pc.ibm.com/support/> にアクセスし、該当するフラッシュ更新プログラムをダウンロードしてください。

a 該当する README ファイルおよび本書の説明に従って、フラッシュ・ユーティリティー・ディスクットを作成してください。

b POST/BIOS (フラッシュ) 更新手順を実施します。

8 新しいマイクロプロセッサをサーバーにインストールしたので、オペレーティング・システムに変更を加える必要がある場合があります。

- ご使用のオペレーティング・システムが SMP をサポートしていない場合は、サーバーがサポートしている SMP オペレーティング・システムの 1 つをインストールします。WWW の <http://www.pc.ibm.com/netfinity/> を参照してください。
- ご使用のオペレーティング・システムが SMP をサポートする場合は、オペレーティング・システムの資料を参照してください。オペレーティング・システムが新規マイクロプロセッサを認識するように変更を加えなければならない場合もあります。

9 カバーを再び取り付けます。

10 9ページの『サーバーの配線』に進みます

サーバーの配線

Netfinity 5600 サーバー にケーブルを接続するには、以下の手順を使用してください。

- 1 空気の循環のよい場所を選びます。サーバーの周囲には、最小でも以下のスペースを確保してください。

前面	102 mm
背面	127 mm
左右	51 mm

- 2 装置ケーブルをサーバーに接続します。ケーブル・コネクタの位置については、次ページの図を参照してください。

重要

サーバーの 10BASE-T または 100BASE-TX ポートをハブに接続する場合、両端に RJ-45 コネクタを備えた対より線（シールドなし）UTP ケーブルを使用します。100BASE-TX には、電磁的な互換性を含め、各種の基準を満たすため、EIA/TIA-568 カテゴリー 5 のケーブルを使用する必要があります。

- 3 電源コードをサーバーに接続します。
- 4 すべての電源コードをコンセントに接続します。

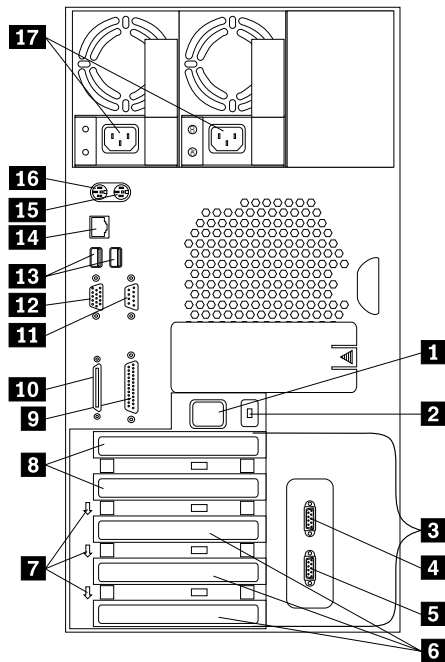
重要

サーバーの電源コードをコンセントに差し込んでから電源制御ボタンを押すまでの間は、システム電源ライトが明滅して、電力が供給されていることを示します。

- 5 11ページの『サーバーの正しい動作の確認』に進みます。

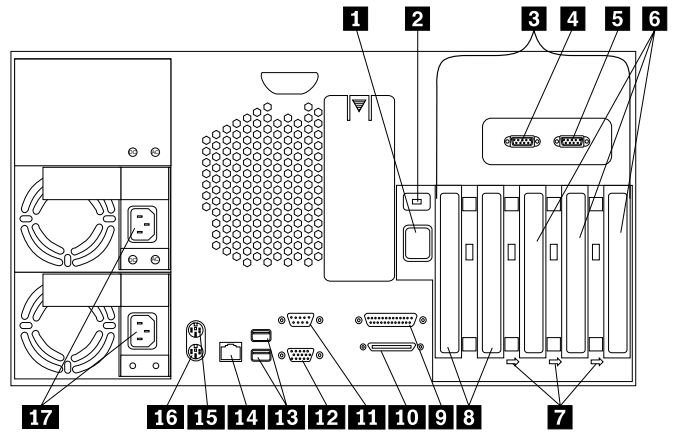
ケーブル・コネクタ

タワー・モデル



- 1** 拡張システム管理相互接続突き出し
- 2** 外部コネクタ突き出し
- 3** PCI 拡張スロット
- 4** シリアル A コネクタ
- 5** シリアル B コネクタ
- 6** ホット・プラグ PCI 拡張スロット
- 7** ホット・プラグ PCI スロットのアテンション・ライト
- 8** 非ホット・プラグ PCI 拡張スロット

ラック・モデル



- 9** パラレル・コネクタ
- 10** SCSI コネクタ
- 11** 管理ポート C コネクタ
- 12** ビデオ・コネクタ
- 13** 汎用シリアル・バス 1 および 2 コネクタ
- 14** イーサネット・コネクタ
- 15** マウス・コネクタ
- 16** キーボード・コネクタ
- 17** 電源コネクタ

サーバーの正しい動作の確認

Netfinity 5600 サーバー が正しく動作しているかどうかを確認するには、以下の手順を使用してください。

- 1 モニター、プリンター、モデムなどのすべての外部装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。コントロールおよびライトの位置については、次ページの図を参照してください。

重要

電源コードをコンセントに差し込んだ後、20 秒待ってから、電源スイッチを押してください。この間はシステム管理プロセッサの初期化が行われ、電源制御ボタンは応答しません。

- 2 サーバー前面の電源スイッチを押します。電源ライトがオンになり、POST (始動テスト) が開始します。
- 3 モニターを見ます。POST が無事に終了すると、ピープ音が一回鳴り、システムPOST 完了ライトがオンになります。次に始動可能な (ブート可能な) メディアを入れるように指示するメッセージが表示されます。

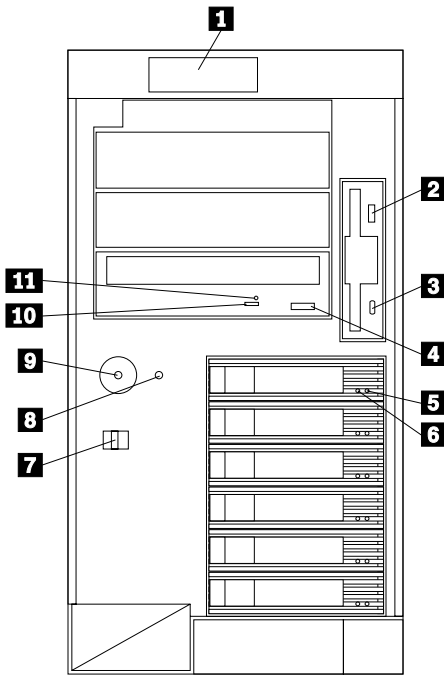
重要

- この時点で F1 が押されると、まだオペレーティング・システムをインストールしていないため、次の POST メッセージが表示されます。
1962 Drive does not contain a valid boot record
- オプションの追加または取り外しを行ったとき、構成情報が変更されている場合 POST メッセージ 164 が表示されます。
この場合は Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムを開始し、**Save Settings** を選択します
- これ以外のエラー・メッセージが表示された場合、ピープ音が 2 回以上鳴った場合、または画面に何も表示されない場合は、この **サーバー・ライブラリ** の「ハードウェア情報」の項の「問題の解決」の項を参照して問題を解決した後、ここに戻って 13 ページの『追加オプションの取り付け』に進んでください。

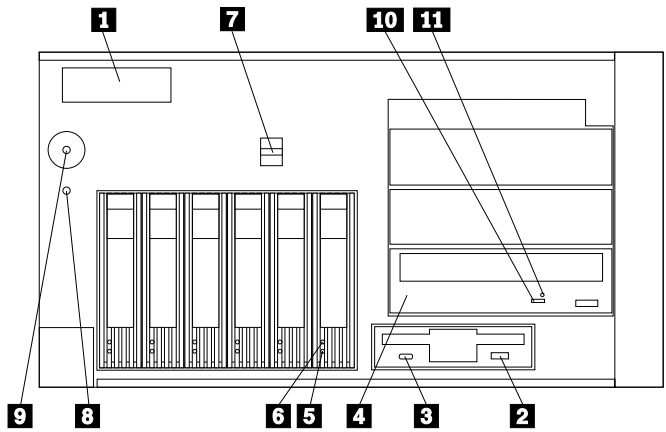
- 4 13 ページの『追加オプションの取り付け』に進みます。

コントロールとライト

タワー・モデル



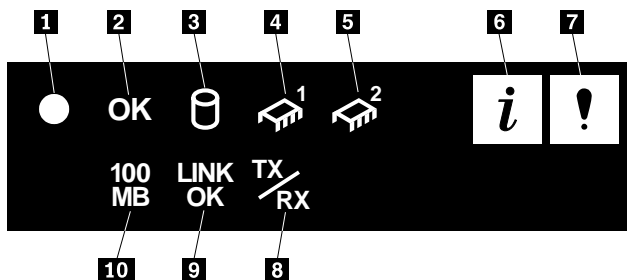
ラック・モデル



- 1** 操作員パネル表示装置
- 2** ディスケット取り出しボタン
- 3** ディスケット・ドライブ使用中ライト
- 4** CD-ROM 取り出しボタン
- 5** ハード・ディスク状況ライト
- 6** ハード・ディスク活動ライト

- 7** カバー解放レバー
- 8** リセット・ボタン
- 9** 電源制御ボタン
- 10** CD-ROM ドライブ使用中ライト
- 11** CD-ROM 手動トレイ開放穴

情報 LED パネル



- 1** システム電源ライト
- 2** システム POST 完了ライト
- 3** SCSI ハード・ディスク活動ライト
- 4** プロセッサ 1 活動ライト
- 5** プロセッサ 2 活動ライト
- 6** 情報ライト
- 7** システム・エラー・ライト
- 8** イーサネット送信/受信活動ライト
- 9** イーサネット・リンク状況ライト
- 10** イーサネット速度 100 Mbps

追加オプションの取り付け

オプションを追加する場合は、ここで取り付けます。

取り付け手順については、この *サーバー・ライブラリー* の情報およびオプションに付属の情報を参照してください

- 1 オプションを取り付ける前に、サーバーの電源をオフにし、サーバーの電源コードをコンセントから取り外します。

重要

- 一部のオプションの追加または取り外しを行うと、サーバーの構成情報が変化する場合があります。オプションの追加または取り外しの後でサーバーを始動（ブート）すると、構成情報が変化している場合には POST メッセージ 164 が表示されます。この場合は Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムを開始し、**Save Settings** を選択します
- 複数のネットワーク・アダプターを取り付ける計画がある場合、ここでは 1 つだけを取り付けてください。ネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) をインストールし、それがエラーなく始動した後に、追加のネットワーク・アダプターを一度に 1 つずつ 取り付けます。

一度にすべてのアダプターを取り付けることもできますが、1 つずつ取り付けることによって障害があるアダプターを見つけやすくなります。

- 2 この *サーバー・ライブラリー* の「ハードウェア情報」の項にある表を使用して以下の作業を行います。
 - 新しいオプション情報を用いて、「デバイスの記録表」を更新します。
 - 第2のマイクロプロセッサを取り付けた場合は、マイクロプロセッサ情報を更新します。
 - サーバーのシリアル番号とキーの番号を記録します。
- 3 オプションをすべて取り付け後は、14ページの『ソフトウェアのインストール』に進みます

ソフトウェアのインストール

このソフトウェア・インストール手順では、ハードウェアの構成、ネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) およびアプリケーション・プログラムのインストールに必要な情報を提供します。

ハードウェアの構成と **NOS** のインストール

始める前に:

- ServerGuide プログラムが始動しない場合は、このサーバー・ライブラリーの「ServerGuide および Netfinity マネージャー」の項の“エラー-症状”を参照してください。
- ServeRAID 構成プログラムに関する情報は、このサーバー・ライブラリーの「ServeRAID 情報」の項内、またはServeRAID オプションと共に提供されていません

1 *Netfinity Setup and Installation* CD (CD1) を挿入し、サーバーを再始動します。次にメニューが表示されたら使用する言語とキーボード・レイアウトを選択します。

2 メインメニューが表示されたら、**Run Netfinity setup programs and configure hardware** をクリックします。

構成プロセスが完了すると、NOS インストール・プログラムを開始するように指示されます。

3 オンラインしようとする NOS をクリックし、オンライン指示に従います。
どの画面からでも、? をクリックするとヘルプを利用することができます。

重要

ServerGuide を使用しないで NOS をインストールする場合は、15ページの『ServerGuide を使用しない NOS のインストール』を参照してください。

4 NOS をインストールした後、必ず15ページの『追加プログラムのインストール』を読んでください。

ServerGuide を使用しない NOS のインストール

サーバーのハードウェア構成が完了し、ServerGuide を使用せずに NOS をインストールする場合には、システム固有の NOS インストール手順と デバイス・ドライバーが必要です。

WWW の <http://www.ibm.com/support> から最新レベルの NOS 導入説明書およびデバイス・ドライバーをダウンロードすることができます。

- 1 Servers の下の **Netfinity** をクリックします。
- 2 **Select your family** フィールドから、**Netfinity 5600** をクリックします。
- 3 **Netfinity 5600** ウィンドウのリストで、**model** をクリックします。

Downloadable files をクリックし、デバイス・ドライバーをダウンロードします。

または

Software information をクリックし、NOS インストール説明書をダウンロードをします。

追加プログラムのインストール

ServerGuide には NOS ソフトウェアの開発元が提供している最新の NOS 修正版が含まれています。Web サイトから修正版をダウンロードする必要はありません。アップデートをインストールするには、ServerGuide *Operating System Updates* CD のルート・ディレクトリにある README ファイルを参照してください。

アプリケーション・プログラム

ServerGuide CD には、ソフトウェア導入キーのいないアプリケーションが数多く入っています。たとえば、次のプログラムが用意されています。

- IBM Update Connector

IBM HelpCenter サーバーに接続し、サーバー BIOS、マイクロコード(ファームウェア)、デバイス・ドライバー、およびアプリケーション・プログラムの更新の有無を調べることができます。

- IBM Netfinity マネージャー

最新のシステム管理ソフトウェアです。

- IBM ServeRAID プログラム

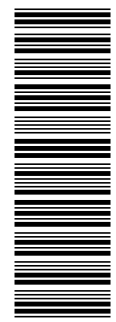
管理機能およびモニター機能を提供します。

ServerGuide に含まれているアプリケーションの詳細については、この *サーバー・ライブラリ* の「ServerGuide および Netfinity マネージャー」の項を参照してください。



部品番号: 46L3494

Printed in Japan



46L3494

日本アイビーエム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12



SA88-6894-00